

平成 27 年度「幼稚園 学校評価」結果公表シート

学校法人渋沢学園
いずみ幼稚園

平成 27 年度の幼稚園評価として教職員の自己評価、学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって自らが客観的に自園を見つめ直し、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点とし、更なる教育活動の充実と教職員の資質向上に努めてまいります。

I 教育目標 『豊かな感性・たくましい心身・考える子』

1. 自然に触れ合い、命の尊さと優しい心を育む
2. 豊かな感性と健康でたくましい心身をつくる
3. 一人ひとりの個性を大切にして良さを引き出す
4. 安全・生活・社会のルールを身につけさせる

II 今年度の重点目標

1. 「ふれあい交流」〈人間関係・感情・思いやり・優しさ・挨拶（言葉）・社会のルール・役割〉
 - ◎異年齢交流
 - ◎元気な声で挨拶をする
 - 地域の方とのふれあい
 - 親子交流
 - 公共の施設を利用し、その場での約束やルールを学ぶ
 - 動物とのふれあい
2. 「自然体験」〈身体能力・思考力・見る力・想像力・表現力・開放感・感性〉
 - ◎自然に触れる…遊びや表現活動に取り入れる
 - ◎積極的に戸外へ出掛けていく
 - 動植物を育てる
 - 季節の変化への気付き
3. 「食育」〈感謝する心・よく食べる・食事マナー・愛情・体験・気付き〉
 - ◎野菜の栽培…育てる喜び、食べる意欲
 - 採れたてを食べる
 - 週に1度の愛情弁当
 - 食品とその働きについて興味を持つ

Ⅲ 評価項目と取組状況

評価項目		取組状況
幼稚園管理運営	幼稚園の教育目標と重点目標の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知するよう努めている。(園だより、園通信、HP、PTA 総会での説明等) ・全職員で共通理解を図りながら、一人ひとりの成長、クラス経営の充実を図っている。
	危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの中で各職員の役割を明確にし、周知している。 ・地震、火災の避難訓練や防犯訓練等を定期的実施している。 ・大災害に備えた「一斉お迎え訓練」を実施。 ・園内での事故をなくすよう日常の遊具、施設の安全確認を実施している。
	家庭、地域、関係機関への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・通信や園だより、クラスだより、HP、有線テレビ等を利用して情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を深める取組みをしている。またファミリーコンサートや人形劇鑑賞会、運動会等の行事の際に地域の方にも参加を呼びかけ、地域との交流を図るように努めた。 ・未就園児教室を開設したり、公開保育を行い、幼稚園を知ってもらったり交流したりする機会を設けた。 ・保育参観や懇談会は、なるべく参加しやすい日程を設定し、定期的実施している。 ・保護者アンケートを実施し幅広い声や意見を把握する事ができ、結果を書面等で公開し、今後の教育活動の参考とすることができた。
教育活動	教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の職員会議や日々の打ち合わせ等で教育課程の編成(指導計画)や実施法(年案・月案・週案)について話し合い、教職員間の共通理解を図るために努力している。 ・園が定めている教育課程は、健康・人間関係・環境・言葉・表現について達成する目標をもち、編成するよう努めている。
	発達段階に則した適切な幼児理解・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達段階に応じた適切な指導・援助に努めている。 ・必要に応じて加配教諭の配置、専門の支援員の観察・指導を受け、実践している。 ・一人ひとりについて教職員の話し合いを密に行ない、情報の共有に努め学年ごとのつながりを意識して保育に取り組んでいる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・自主的・主体的に学ぶ環境づくりをするよう努めている。 ・身近な自然や社会とかかわることができるように園外保育や散歩、社会福祉施設の訪問や公共施設（温泉プールや図書館等）の利用などを行っている。 ・野菜の栽培を通して感謝や喜び、気付き等を学ぶ。
	幼稚園と小中学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教育内容について理解したり園児の様子を知ってもらう為に、幼保小中連絡会の他、年長児が近隣小学校との交流会を行ったり、行事の見学に行ったりしている。 ・中学生の職場体験実習生を受け入れ、交流を行なっている。
	教員の資質向上 研究・研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究保育を実施している。 ・園外（県内外）の研究会や研修会に参加し、職員の資質向上に役立てている。

IV 総合評価

評価の基準

A：十分達成できた

B：おおむね達成でき

C：あまり達成できなかった

D：達成できなかった

【総合評価】 B

教職員一人ひとりが評価項目に対し積極的に取り組む姿が見られた。取り組むべき課題について全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し取り組み状況を話し合うことを通して本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

特に危機管理については万一の自然災害や様々な危険に対しての環境整備、安全管理体制の点で更なる対策が必要であり、今後取り組むべき課題として対処していくつもりである。

V 今後取り組むべき課題

- ・安全管理体制全体の更なる見直しと改善。（園庭通路の東門を 28 年度春設置予定）
- ・園または教職員にとって必要な研修内容を検討し、計画的に園内外の研修に取り組むことで更なる教職員の資質向上を図る。職員全員参加での園内研修を行なう。
- ・保育の取組みについて保護者との連携を大切にし、更なる信頼関係の向上に努める。
- ・保護者による自由参加型の「希望保育デー」を実施し、参加者からは好評をいただいた。より多くの希望者が参加できるように工夫する。
- ・共働き家庭の増加に伴い、保育参観の回数の再考や PTA 活動の負担軽減を図るように努める。
- ・園外活動の機会を増やし、身近な恵まれた自然や地域の方々と触れ合う活動を更に充実させる。

VI 学校関係者の評価

- ・職員と園が協力して各評価項目内容に取り組んでいる。
- ・子ども達に対する教職員の真摯な姿勢は評価できる。子ども達も喜んで園生活を送っている。
- ・教育方針や園の紹介をもっとすべきである。
- ・常に保護者の思いを受け入れ、情報交換を密にしてより良い指導がされることを願っている。
- ・園行事の際に地域の方に声掛けをしたり、地域独特の行事や伝統行事があつて、ありがたい。

VII 財務状況

公認会計士監査により、適正であると認められている。